

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Haccii 8 0 8		
○保護者評価実施期間	令和6年12月9日		令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年12月9日		令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児への対応力	看護師間でミーティングを実施し、体調面やケア方法についての共有を実施。普段の関わりの中で気付いた点があれば、すぐに共有し検討しています。カンファレンスにも積極的に参加しています。日々のケアについては事前に担当など確認し、チームで対応しています。	個性が高く、それぞれによって違った対応が基本とはなるものの、マニュアルの改善を通じてよりスムーズな対応をしていきたいです。
2	専門的知識からの療育の実施	経験の深い職員が中心となり、個性に合わせた療育を実施しています。活動内容については、必ず趣旨を事前に職員全体に周知し、その上でプログラムを実施しています。	専門外のスタッフの支援する力の育成のため、支援面に特化したような研修を実施していきたいと考えています。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎・利用時間のニーズについて	放課後等デイサービスとの利用時間の都合や職員の勤務都合から、帰りの送迎の依頼や利用時間の延長を受けることが難しく、ご希望通りにいかないことがあることを心苦しく思っています。	現状としてはなかなか改善の糸口が見えませんが、職員の補充などからニーズに応えられる日を増やしたいと考えています。
2	地域の保育園など、他のこどもとの交流	当初はコロナの問題もあり、施設内での活動の充実を図ってききましたが、状況が変化してきた現状としても外部へあまり目を向けられていませんでした。	こちらから外部にアプローチし、交流する機会の設定を検討したいと思います。
3			